

令和元年度 吹田市地域医療推進懇談会 作業部会の趣旨について

1 令和元年度の作業部会の趣旨

吹田市地域医療推進懇談会の議論においても、延命治療を望まないと思意表示している方の救急搬送の問題も含め、人生の最終段階における医療・ケアにおいて十分に本人の意思が尊重されることの重要性についての意見が出されています。

そうした意見を踏まえて今年度の作業部会では、人生の最終段階における医療やケアに関する本人の意思決定や支援についての現状把握と課題の整理を行い、市民の意思を尊重したアドバンス・ケア・プランニング(ACP)ⁱの推進方法について議論を行います。

2 作業部会での論点

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」や「人生の最終段階における医療・ケアの普及・啓発の在り方に関する報告書」等を踏まえ、本人の意思を尊重した支援につなげるために、以下のような点についてご議論いただきたいと思えます。

(1) 市民への情報提供や啓発の在り方

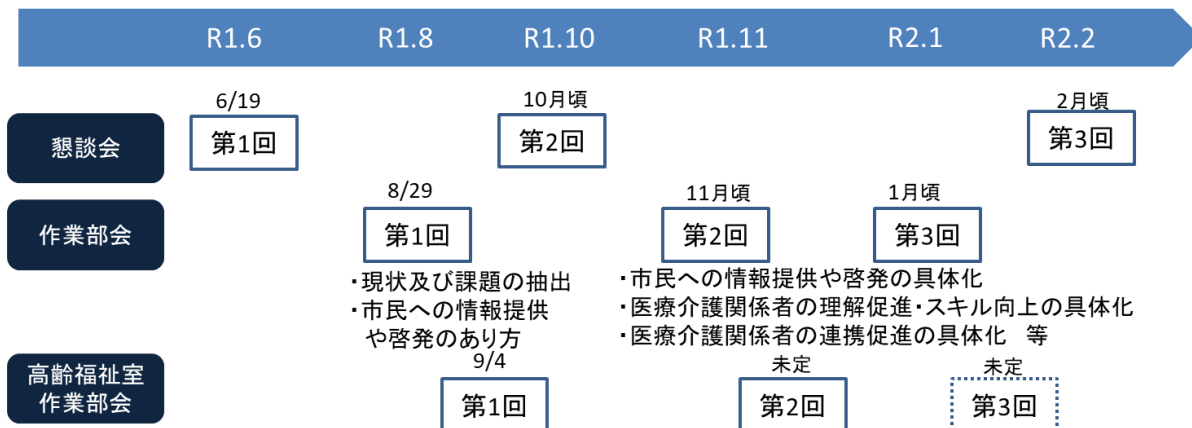
啓発の対象の考え方や伝える内容について
啓発媒体や本人の意思を文書にまとめるツール等の必要性や、啓発の方法等について

(2) 医療介護関係者の理解促進・スキル向上の在り方

理解・習得すべき内容（意思決定支援に必要な知識や技術、医療介護関係者間での情報共有の重要性や工夫等）や研修等の在り方について

3 スケジュール等

(※)各回の開催時期及び内容は、日程調整や議論の進捗状況等により変更の可能性あり



本作業部会の意見を踏まえながら、高齢福祉室所管の吹田市在宅医療・介護連携推進協議会作業部会(地域住民への普及啓発)においても、ACPの概要を示した市民啓発媒体案の検討を行う予定。

ⁱ アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組